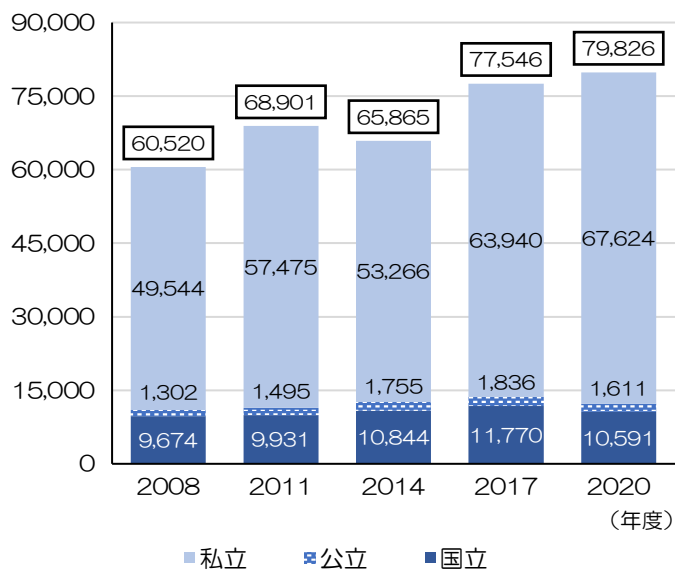


# 9. 国際化(1)

## 9-1. 海外からの留学生数

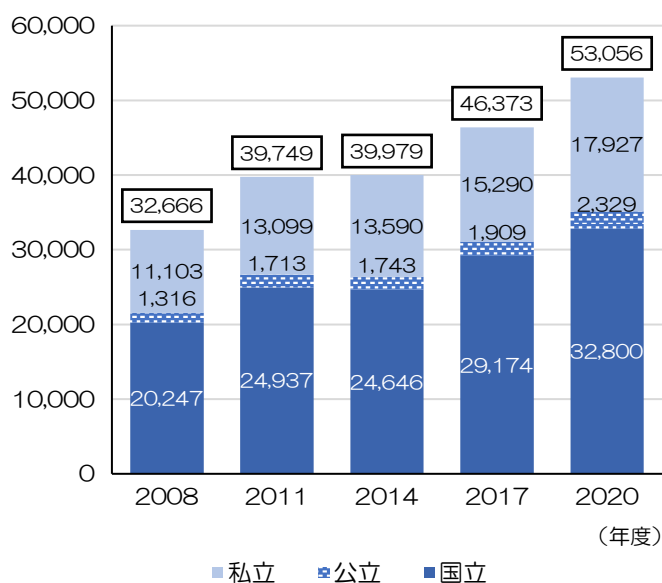
### ・学部

(単位：人)



### ・大学院

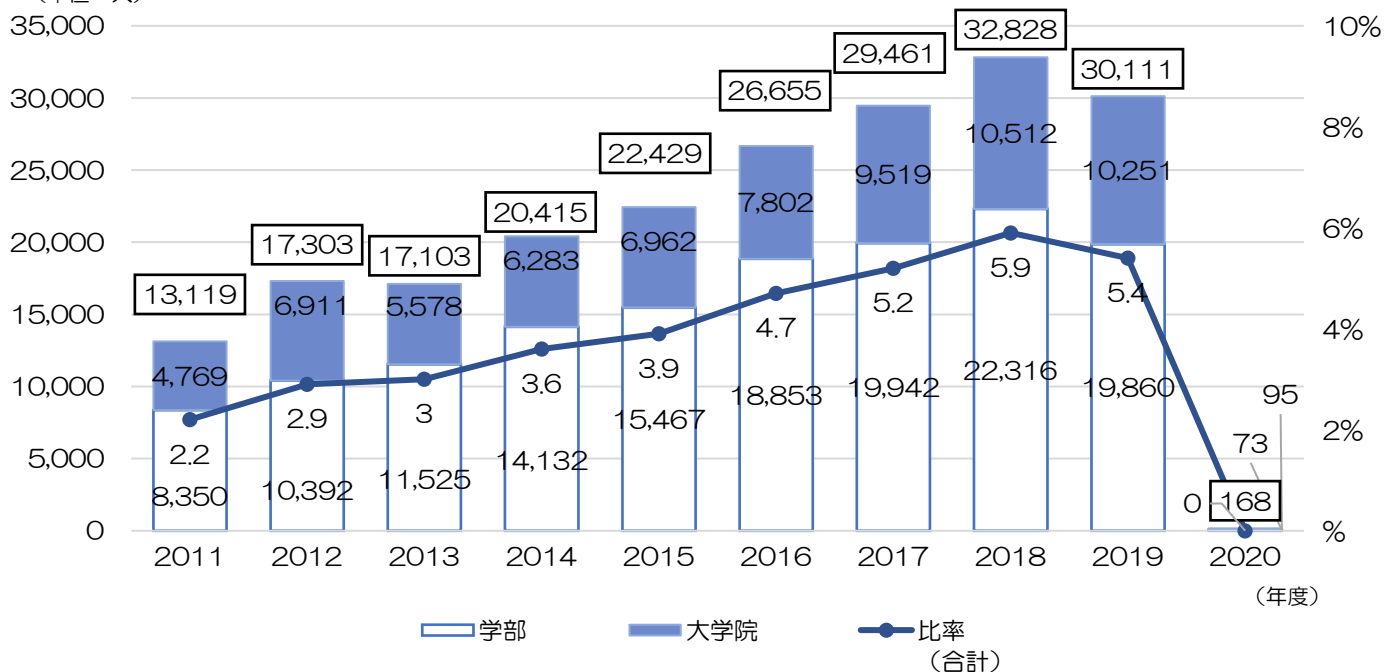
(単位：人)



(出典) 日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」(各年)より国立大学協会事務局作成

## 9-2. 国立大学における海外への留学者数・比率

(単位：人)



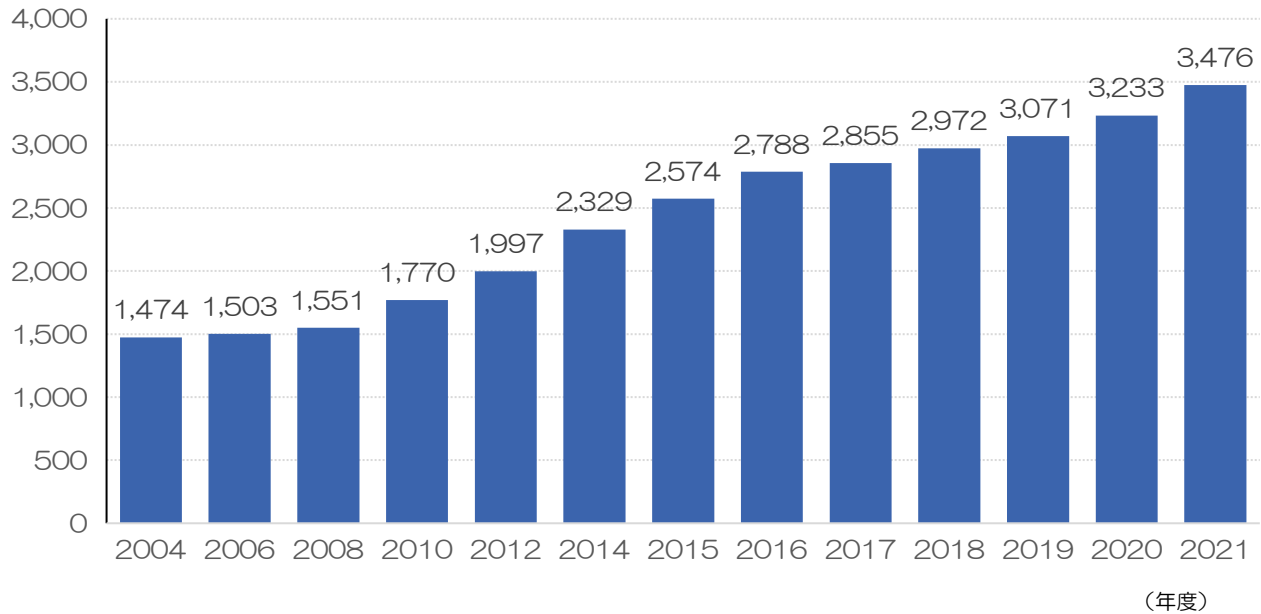
(注) 2011・2012年度は海外留学者数(日本人に限らない)の割合。分母は、同年5月1日時点の総学生数。2013年度以降は海外留学者数(日本人学生に限る)の割合。分母は【同年5月1日時点の学生数(国立大学協会調査)-外国人留学者数】。

(出典) 国立大学協会「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」フォローアップ調査結果(各年)より国立大学協会事務局作成

# 9. 国際化(2)

## 9-3. 外国人教員数

(単位：人)



(注1) 国立大学のみ値。

(注2) ここでは「学校基本調査」の教員(本務者)を対象とする。

(出典) 文部科学省「学校基本調査」(各年)より国立大学協会事務局作成

## 9-4. 英語での授業実施科目数

(単位：科目数)

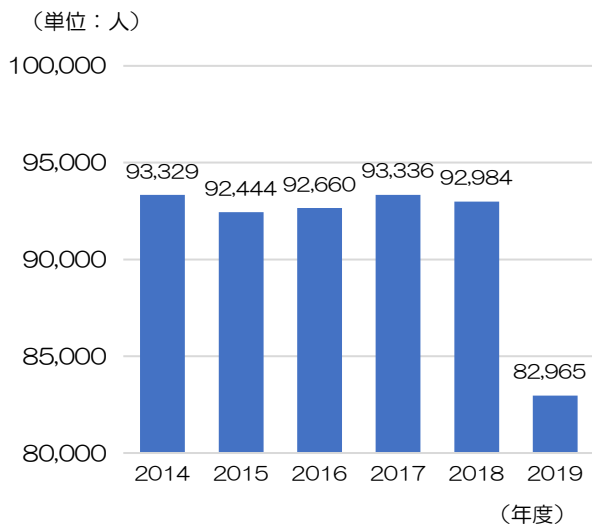


(注) 2012年度の授業科目数には、語学としての授業科目を一部含む。

(出典) 国立大学協会「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」フォローアップ調査結果(各年)より国立大学協会事務局作成

# 9. 国際化(3)

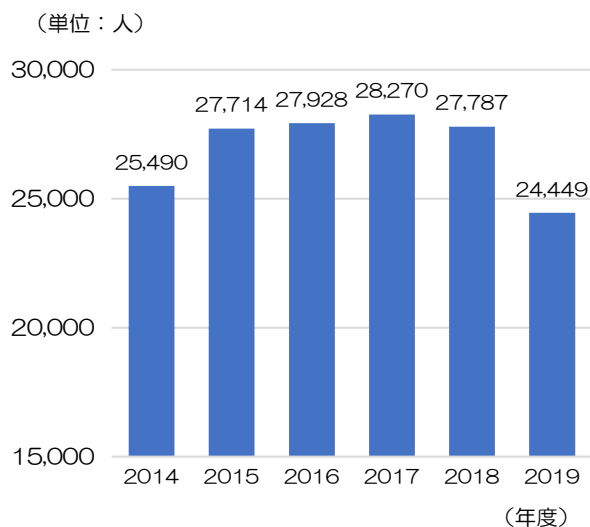
## 9-5. 研究者派遣数



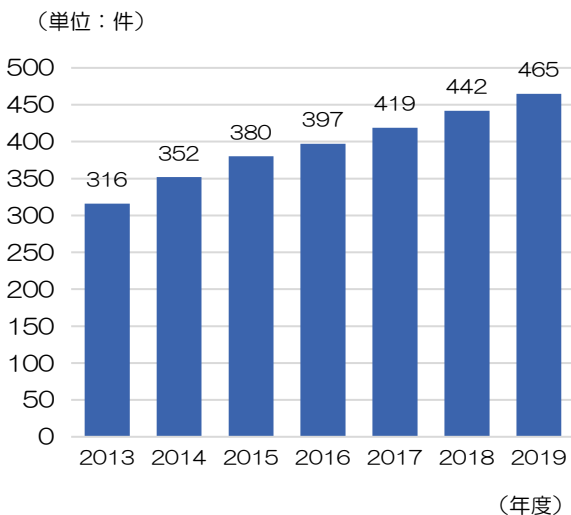
(注) 国立大学のみ。の値。

(出典) 文部科学省「国際研究交流の概況」(2019年度の状況)より国立大学協会事務局作成

## 9-6. 研究者受入数



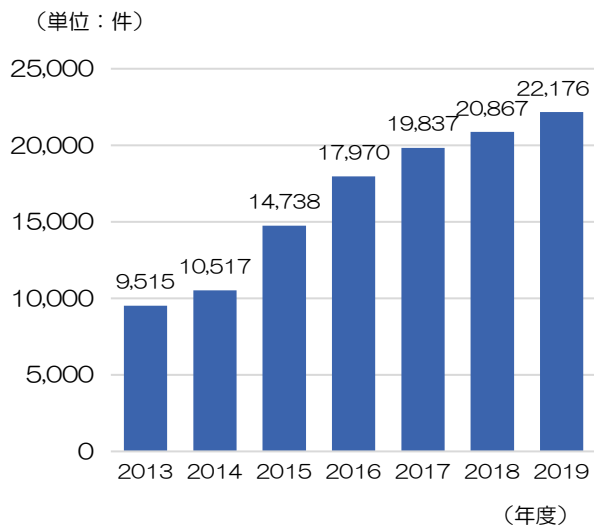
## 9-7. 海外拠点数



(注1) 国立大学のみ。の値。

(出典) 文部科学省「海外の大学との大学間交流協定、海外における拠点に関する調査結果」(各年)より国立大学協会事務局作成

## 9-8. 国際交流協定数

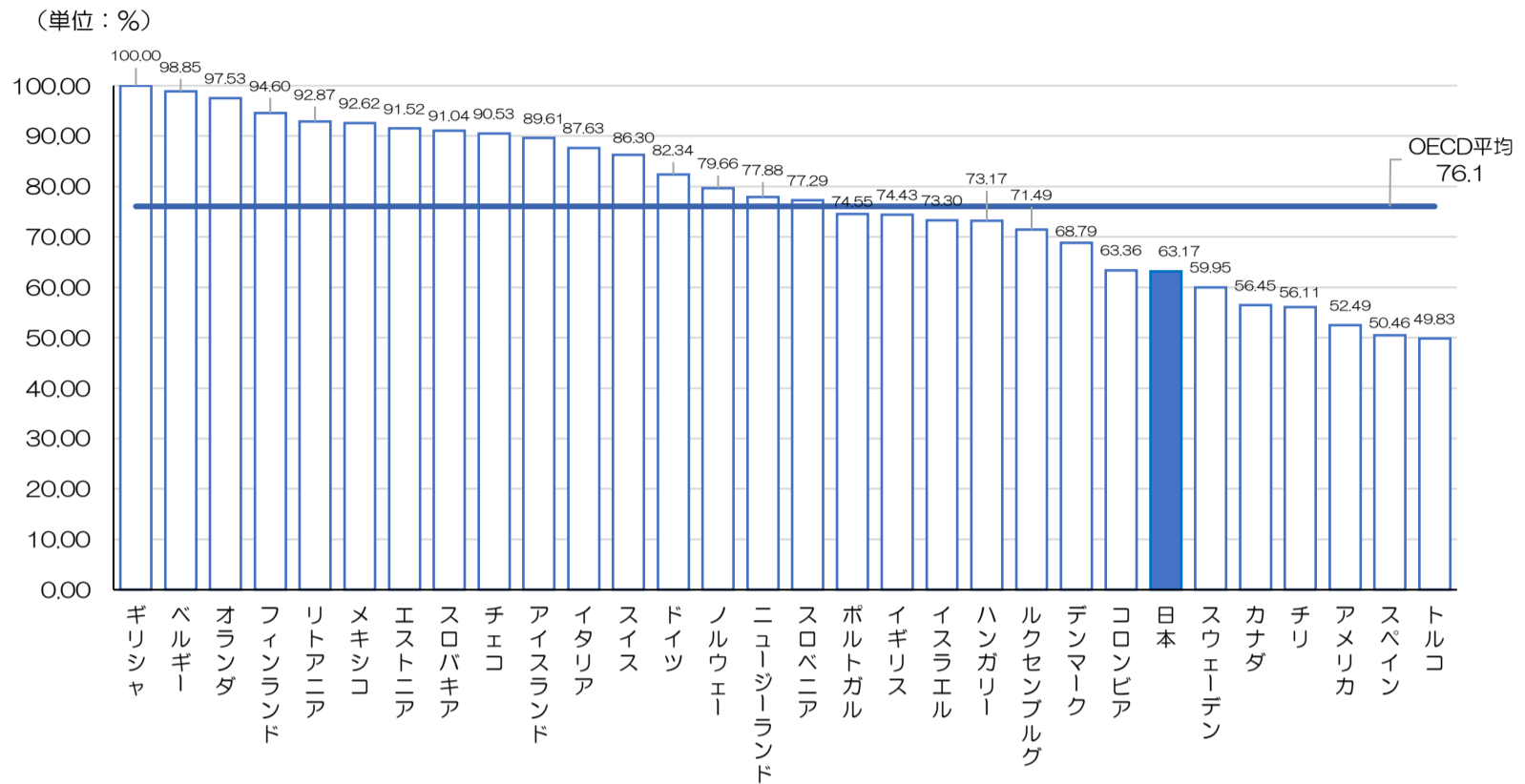


(注1) 国立大学のみ。の値。

(出典) 文部科学省「海外の大学との大学間交流協定、海外における拠点に関する調査結果」(各年)より国立大学協会事務局作成

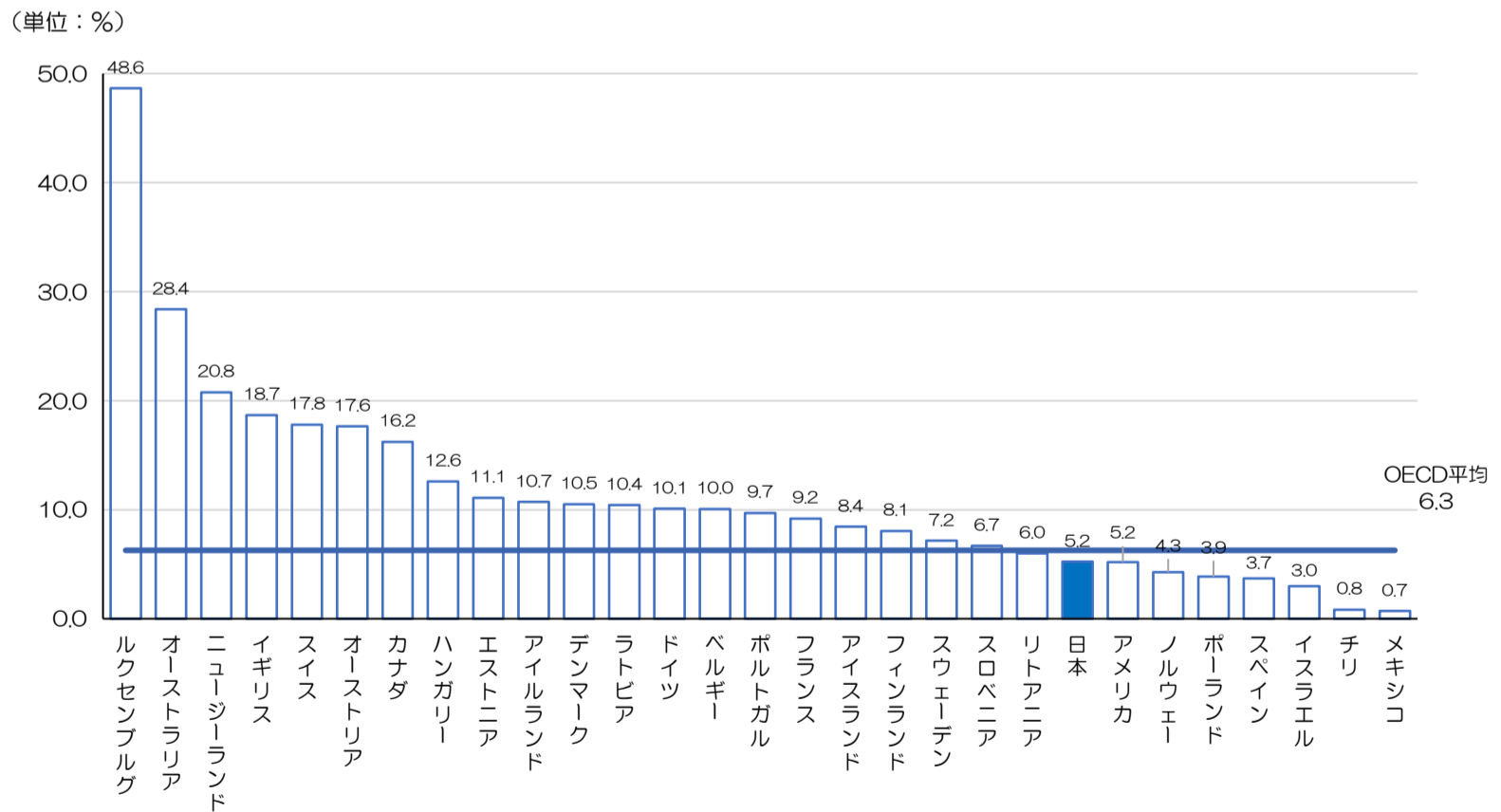
# 9. 国際化(4)

## 9-9. 大学進学率（学士課程）の国際比較（2019）



(注1) このデータには定義上、留学生の入学者が含まれている。  
 (注2) オーストラリア、コスタリカ、フランス、アイルランド、韓国、ラトビア、ポーランドについては、数値データが提出されていない。  
 (出典) OECD「Education at a Glance 2021」より国立大学協会事務局作成

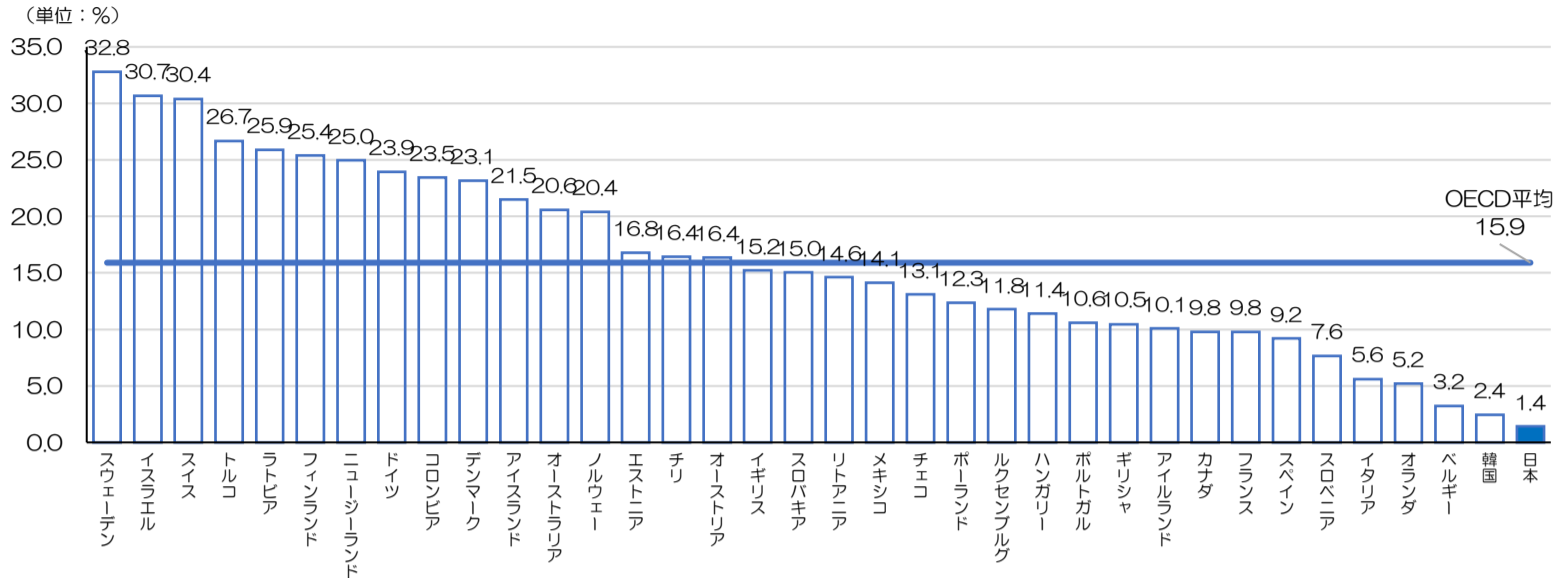
## 9-10. 高等教育機関に在学する留学生・外国人学生の割合の国際比較（2019）



(注) オランダについては、数値データが提出されていない。  
 (出典) OECD「Education at a Glance 2021」より国立大学協会事務局作成

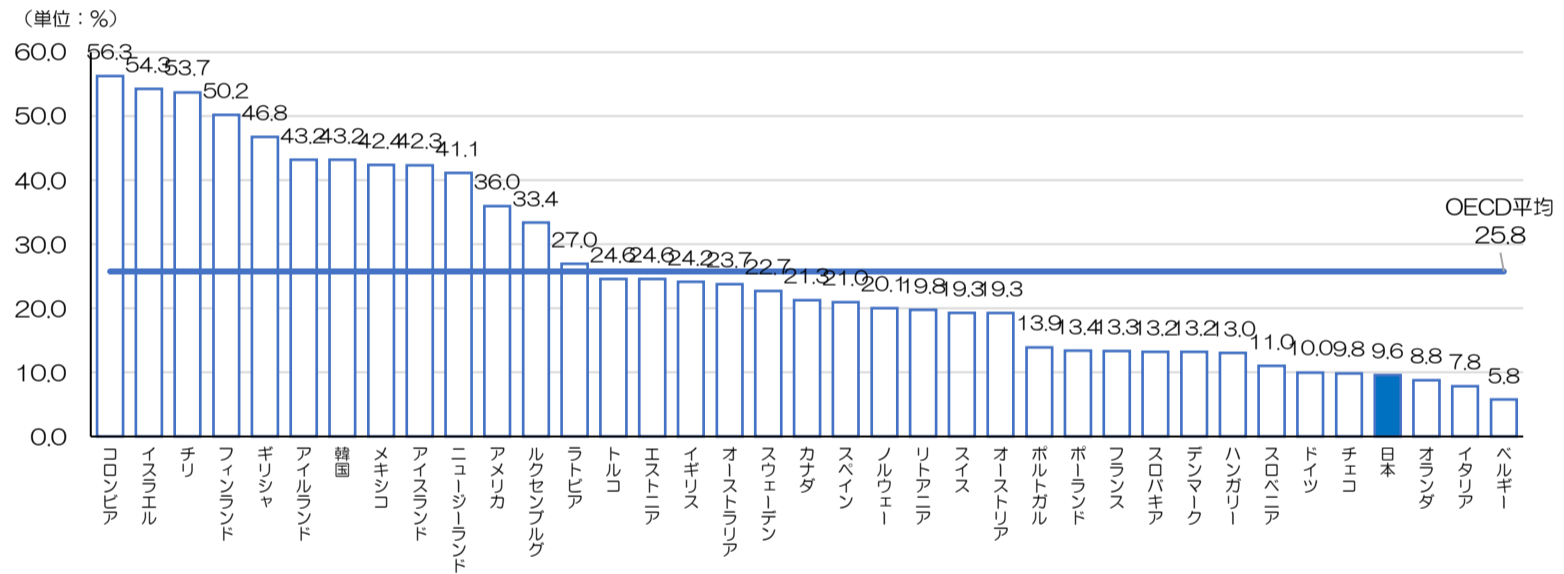
# 9. 国際化(5)

## 9-11. 25歳以上の学士課程への入学者の割合の国際比較 (2019)



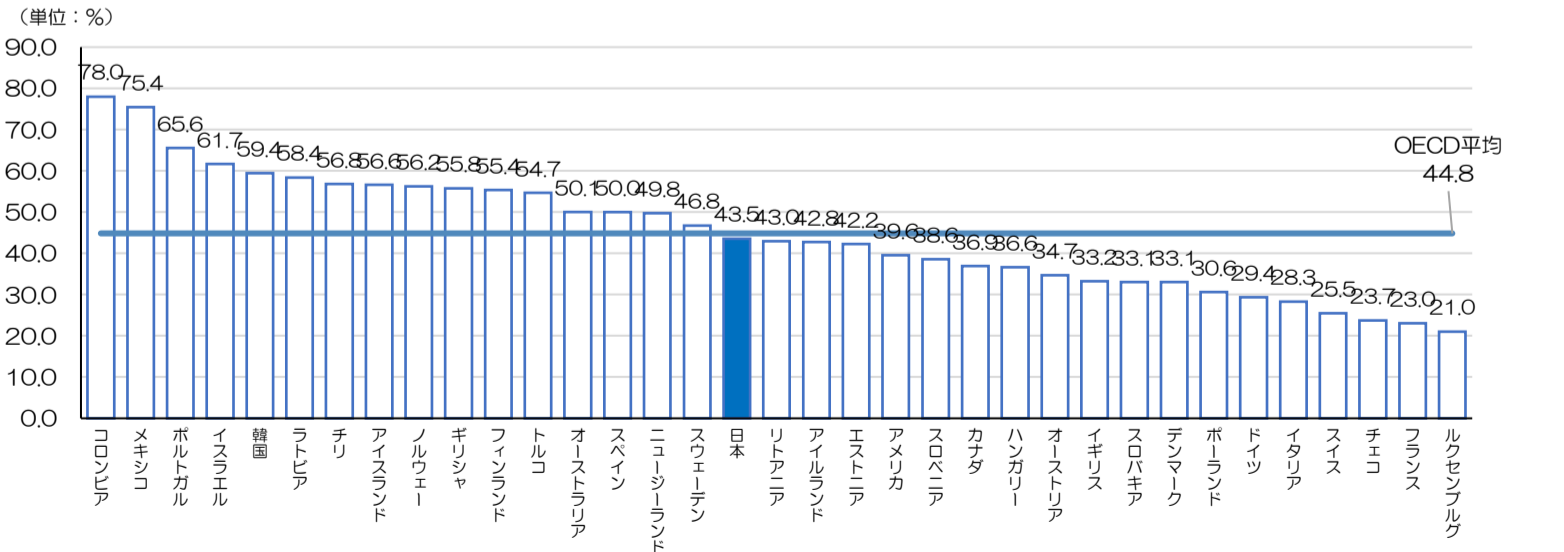
(注1) 日本以外の諸外国の数値については、高等教育段階別の初回入学者の割合。  
 (注2) コスタリカ、アメリカについては、数値データが提出されていない。  
 (出典) 文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」(答申) 参考資料より国立大学協会事務局作成  
 (元データ) OECD「Education at a Glance 2021」

## 9-12. 30歳以上の修士課程への入学者の割合の国際比較 (2019)



(注1) 日本以外の諸外国の数値については、高等教育段階別の初回入学者の割合。  
 (注2) コスタリカについては、数値データが提出されていない。  
 (出典) 文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」(答申) 参考資料より国立大学協会事務局作成  
 (元データ) OECD「Education at a Glance 2021」

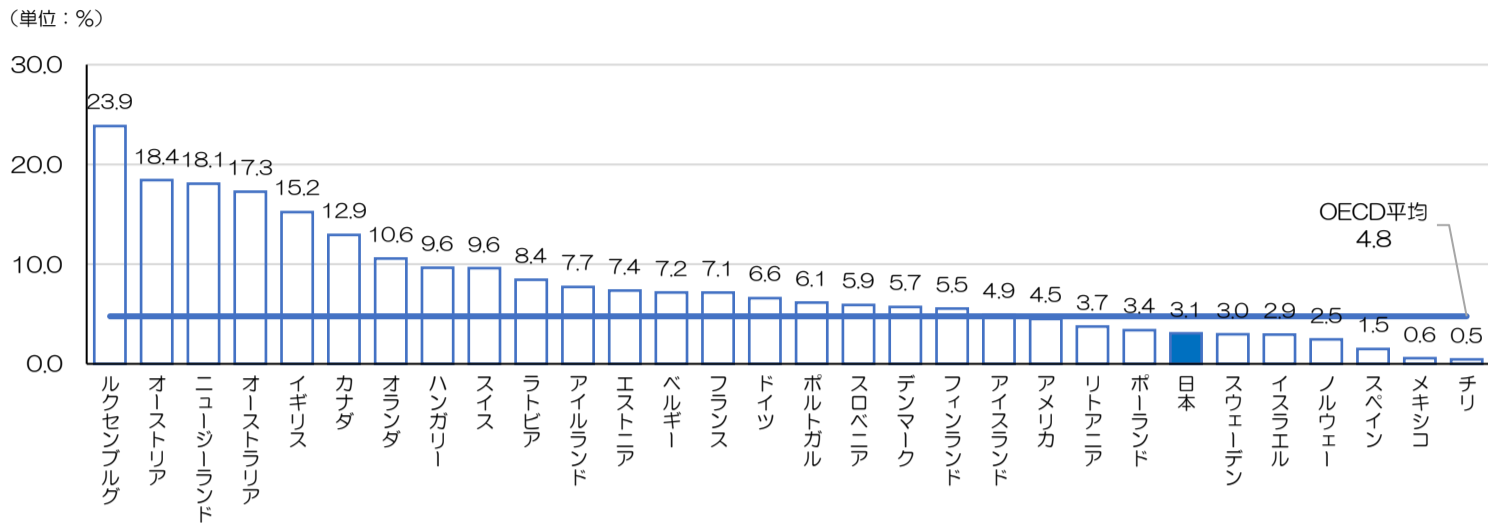
## 9-13. 30歳以上の博士課程への入学者の割合の国際比較 (2019)



(注1) 日本以外の諸外国の数値については、高等教育段階別の初回入学者の割合。  
 (注2) ベルギー、コスタリカ、オランダについては、数値データが提出されていない。  
 (出典) 文部科学省「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」(答申) 参考資料より国立大学協会事務局作成  
 (元データ) OECD「Education at a Glance 2021」

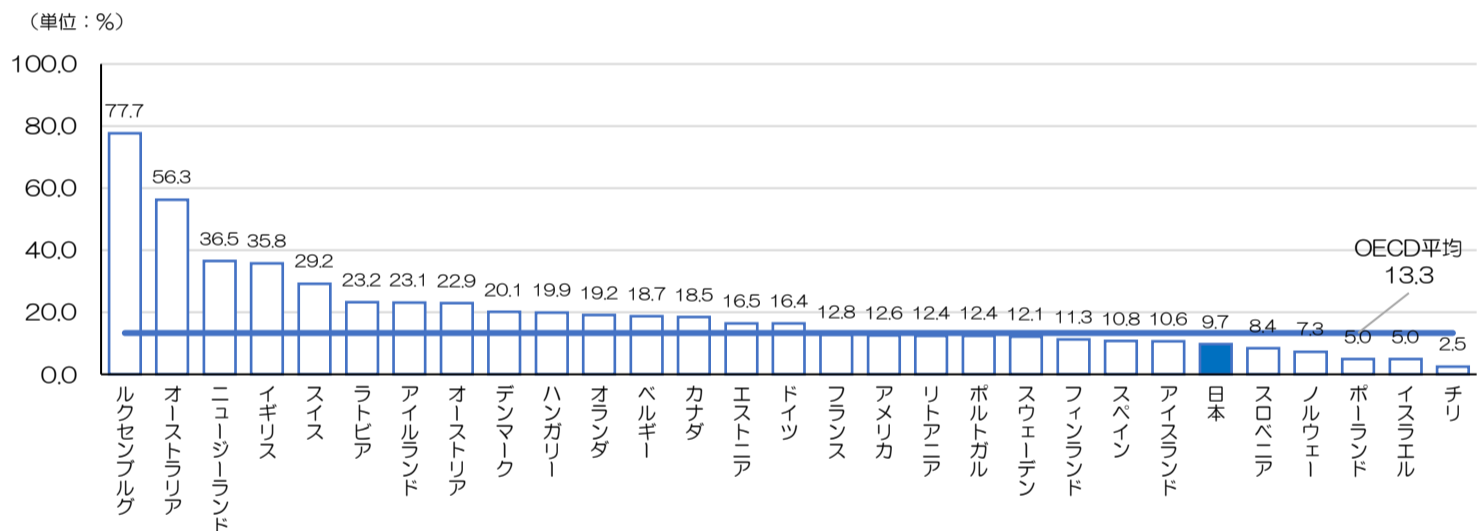
# 9. 国際化(6)

## 9-14. 学士課程に在学する留学生の割合の国際比較 (2019)



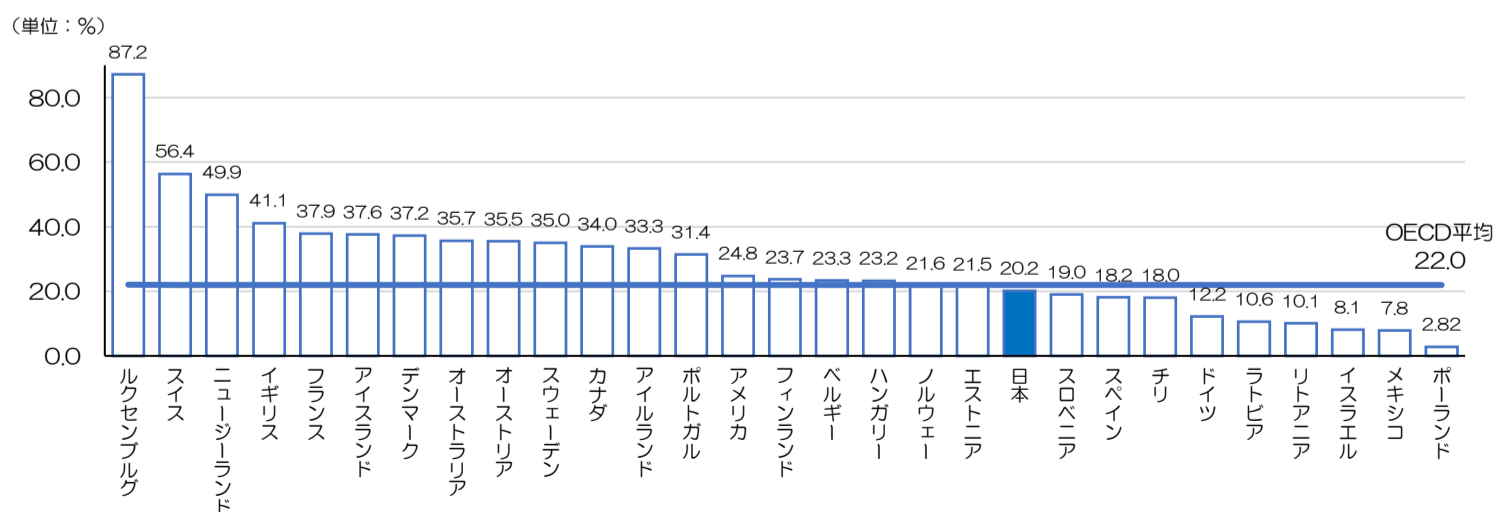
(注) このデータには定義上、留学生の入学者が含まれている。  
 (出典) OECD「Education at a Glance 2021」より国大協事務局作成

## 9-15. 修士課程に在学する留学生の割合の国際比較 (2019)



(注) このデータには定義上、留学生の入学者が含まれている。  
 (出典) OECD「Education at a Glance 2021」より国大協事務局作成

## 9-16. 博士課程に在学する留学生の割合の国際比較 (2019)



(注) このデータには定義上、留学生の入学者が含まれている。  
 (出典) OECD「Education at a Glance 2021」より国大協事務局作成